

深山古木伐出、石を露、終に降雨、一時洪水暴漲、
累年水災沈陥、國民日窮乏、哀苦、一日も
不忍、昔年積年、鯨鯢、大河津分派、去年來
水患、おのずから、幸欽祈、田業垂成、時、日、夜、暮、仁
居、とも、兎角、法、事、下、古、延、引、とも、年、民心失望、自然
不穩、後、とも、有、私、共、力、般、出、系、進、下、情、事、上、海、
右、大河津、外、水、害、臨、場所、間、便、諸、説、も、有、由、

此とも是ハ青山、垣、入、或ハ内野、右、之、所、見、之、方、と、し、
第一、青山、新、舟、港、一、里、程、隔、河、海、二、低、ハ、新、潟、港、
同、指、海、潮、為、河、水、以、支、派、下、海、軍、船、加、之、新、潟、西、
川、に、接、孤、島、も、亦、其、に、近、感、也、只、中、水、下、市、
近、郷、田、野、に、溜、り、水、樋、拂、留、多、近、大、河、水、害、を、
除、見、込、一、切、無、也、凡、事、中、近、今、古、姓、大、数、人、蟻、群、
吉、山、掘、割、と、唱、ひ、鉄、工、の、役、を、早、竟、に、能、切、迫、し、餘、り、

一旦に過敷な事起るるに、此端一政に依りて之を
新潟府より迄、然るも成頭多し、而して海刑典に
依りて之を、第二塩入に依りて大河津に二里程上りて信濃
川、金海原郷元村迄、凡て武里第一、第二流凡そあり
去二月中、新潟府より、原、新、古、田、四ヶ所、測量仕置
塩入に、額凡そ千丈、第一掘に、古、新、古、田、四ヶ所、石
運轉し、塩入に、入費、凡そ百両、而して、掘、運、費、凡そ、力、より、能

六、藩、評、災、方、河、津、に、所、在、は、第一、二、河、野、に、依り、去り
又、河、野、に、依り、上、り、て、第二、河、野、に、入、り、入、り、河、野、に、海、原
卒、瓦、村、迄、凡そ、千、丈、間、敷、丈、に、砂、山、と、鑿、鑿、渠、に、西、川、床
に、貫、き、長、凡そ、十、百、幅、三、百、に、大、樋、五、ヶ所、伏、入、十、里、程、に、地
惡、水、西、川、に、入、り、水、程、程、海、面、に、落、水、以、り、而、て、古、田、に、過、り、
患、を、道、に、而、毛、地、に、敷、き、而、開、拓、し、而、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、
而、り、

老川切廣く交流しぬる都て之改平前く害を甚く
良田忽亡地を甚く且西川水原が田野近十里余と
能く築き堤おつ防溺する所不客易に役令ふ仕置
新堀を修之里程し上流に減水し而諸河をせしむる
有害を益決る不可用と云ふ多敷何れ道も信濃
川に水患を免れぬと云ふ場所雖も之を列る方
少く半田より上下し大古きと云ふ入るも大河津に

外に洲第々一と云ふ寶應年中古く一轍し決み哉民
治安し大古きを云ふ事あり

一新葦田に新材板板三市池端に廣く中遠白
仕平地ハ川中百間山に内地、廣狹随ひ二十百三十百有
道者之西山捨れし此川中、古廣く國、今縁を逐
て其國府を平國無き處始り此所縁を重平地川
床を掘り山中ハ掘りお定不足し云ふ方と假し

此代地不ハ重穀といふ事あり償仕て彼等ノ有様ト
ノ事ト云フ一既ニ先般平國兵者及以出陣ノ事也
有様ト云フ一トモあり以理解法ト云フ

一新潟港ニ從テ手官事一、瓦礫ヲ仕テ只一途ニ大河
津分取有様ト云フ舊幕府ノ御度ニ中々有様ト云
比年港ノ交易多ク者索仕ト云フ信濃川沿ハ毎泥水
押出し港口ニ至リ海ノ中ニ拍激シ為泥砂港淺ル事

飲入港ニ從テ又ト云フ近頃ノ事ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
自今御用ノ事ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
津ノ國ノ新井市民老業ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
何ラ大港ノ利用ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
失利御多ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
願高ト云フ一トモあり以理解法ト云フ
實話ト云フ一トモあり以理解法ト云フ

市威總以テ置置ト云フ

七多影上

者大略に見て条件者当此の事より上なる
源更にも可指し急務なる事ありと云ふ

朝廷所部通る事ありて下方より金穀略略度にて
力可仕る内各藩并下方よりおきりては作
其案より割上流下金より更に所部令より下
度編より事部上より上

裁後大所は所部割
用部裁

明治二十二年十月十六日

鷗尾忠吾

三橋健吉

田中興吉

土木

市役所

